

ごあいさつ



山形市は、蔵王連峰や西部丘陵地域に囲まれた山形盆地の中で、馬見ヶ崎川の扇状地に発展した市街地とその周辺に形成された田園地区、身近にふれることのできる里山の緑や河川の水辺など、豊かな自然環境に恵まれています。この恵まれた環境を未来につなぐため、2010年度に策定した「山形市環境基本計画」のもと、市民・事業者・行政の協働により望ましい環境像「豊かな自然と人々の笑顔が輝き続けるまち やまがた」を掲げ、取組みを進めてまいりました。

しかしながら、近年、地球温暖化や大気汚染、生物多様性が損なわれるなど地球規模のさまざまな環境問題が顕在化し、持続可能な社会への変革が世界的に求められています。

2020年、山形市は、将来にわたって健康で安心して暮らすことのできる環境を次世代に引き継ぐために「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。国においても「2050年カーボンニュートラル」の実現を明言し、脱炭素社会の実現に向けて大きく舵を切りました。

また、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、私たちの社会生活にさまざまな変化が生じました。新しい生活様式への転換、デジタル化の加速など、感染対策と社会経済活動の両立を図る感染症に強いまちづくりの重要性が高まっています。

世界では、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のためのSDGs（持続可能な開発目標）の取組みが広がっています。環境のみならず「経済・社会」との統合的向上・解決の視点を持ち、本計画における取組みを推進することはSDGsの達成に貢献するものと考えております。

本計画では、「めざす将来の環境像『みんなで創る 豊かな自然と笑顔輝く 持続的発展可能なまち』」実現のため、「脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）」、「循環型社会」、「自然との共生」、「生活環境の保全」、「環境意識の向上」の5つの基本目標を掲げました。

山形市基本構想でめざす「健康医療先進都市」の実現にあたっては、健康はもとより、生活環境の保全や都市環境の整備など、快適に暮らすことができる良好な環境づくりが重要です。市の環境施策の基本的な方向性を示す本計画を市民・事業者・行政が連携・協力して推進し、さまざまな環境課題の解決を図ってまいりたいと考えておりますので、市民の皆様の積極的な参加とより一層のご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、慎重なご審議を経て計画案を取りまとめていただきました山形市環境審議会の委員の皆様をはじめ、市民意識調査や意見交換会にご協力いただきました多くの市民の皆様にご心から感謝を申し上げます。

令和3年3月

山形市長 佐藤 孝弘